



Helicopters

## AS365

操縦士 整備士

トレーニング カタログ

Pilot & Technician Training Catalog

**AIRBUS**



## エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン トレーニングセンター



エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン  
トレーニングセンター  
〒650-0048 兵庫県神戸市中央区神戸空港 8-8  
神戸空港事業所内

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン トレーニングセンターは、エアバス・ヘリコプターズの認定を受けたトレーニングセンターとして2012年に神戸空港事業所内に設立されました。

機体メーカーならではの経験と最新の技術を活かした世界標準の訓練を日本人教官により日本語にて提供しています。

航空局の実地試験受験やその準備、ガイドライン訓練、学科訓練、実技訓練等の標準訓練をはじめ、お客様基地での訓練やお客様の実機を使用した訓練、標準訓練に設定のない海外訓練や海外施設における本邦外実地試験受験等、お客様のご要望に合う訓練をご提案致します。

## AS365N3/N3+フル・フライト・シミュレーター (マレーシア)

### 認定

- ・ EASA FFS Level B & FTD Level 3
- ・ FAA Part 60 FTD Level 6 Standards

### 主な仕様

- ・ ワイドなビジュアルシステム 210°×70°
- ・ 振動及びサラウンド音響装置
- ・ 6軸フルモーションシステム

### コックピットの仕様変更が可能

- 【仕様1】 アナログ計器  
AP 155 + CDV 155 + RDN 85 (SAR モード付き 4軸)
- 【仕様2】 グラスコックピット (MFD255)  
AP 155 + CDV 85 (3軸)
- 【仕様3】 グラスコックピット (MFD255)  
APM 2010 (4軸)



## 操縦士訓練一覧

訓練名	学科訓練	FFS 訓練	実機訓練	実地試験	掲載ページ
型式限定変更 (N3, N3+)	N3 58 時間 N3+ 62 時間	P4 参照	P4 参照	2 時間 (1 日)	4 - 5
AS365 メーカー標準訓練 (OEM 訓練) (N3, N3+)	N3 58 時間 N3+ 62 時間	P6 参照	P6 参照	なし	6
計器飛行証明 40 時間 / 60 時間 *学科試験合格者対象	70 時間 (10 日)	40 時間 (5 週) 基本計器飛行技能あり (EC135 FFS + AVT + 実機) 60 時間 (7 週) 基本計器飛行から訓練 (EC135 FFS + AVT + 実機)		3 時間 (1 日)	7
型式内移行 (N1 / N2→N3+) ①	26 時間 (4 日)	3 時間 (2 日)	1.5 時間 (1 日)	なし	9
型式内移行 (N1 / N2→N3+) ②	26 時間 (4 日)	なし	4.5 時間 (3 日)	なし	
型式内移行 (N3⇄N3+) ①	12 時間 (2 日)	1.5 時間 (1 日)	1.5 時間 (1 日)	なし	
型式内移行 (N3⇄N3+) ②	12 時間 (2 日)	なし	3 時間 (2 日)	なし	
非常操作	なし	4 時間 (2 日) AS365 FFS	なし	なし	10
特定操縦技能審査 ① ②		口述審査・実技審査・講評 ①H135 FFS ②お客様実機			11

AS365 FFS : HELISIM (フランス) または AHSC (Airbus Helicopters Malaysia : マレーシア) AS365 フル・フライト・シミュレーター  
H135 FFS : 神戸 EC135 フル・フライト・シミュレーター  
AVT : H 135 アビオニクス・トレーナー

## 整備士訓練一覧

訓練名	学科訓練	実技訓練	地上試運転訓練	実地試験	掲載ページ
一等航空整備士 (新規)	105 時間 (15 日)	133 時間 (19 日)	5 日	1 - 2 日	12 - 13
一等航空整備士 (型式限定変更)	70 時間 (10 日)	98 時間 (14 日)	5 日	1 - 2 日	14
AS365 メーカー標準訓練 (OEM 訓練)	70 時間 (10 日)	28 時間 (4 日)	なし	なし	15
型式内移行 (N2 → N3+)	35 時間 (5 日)	なし	なし	なし	16
型式内移行 (N3 → N3+)	21 時間 (3 日)	なし	なし	なし	
オートパイロット学科 (N3 / N3+)	21 時間 (3 日)	なし	なし	なし	16
AS365 リフレッシュ	35 時間 (5 日)	なし	なし	なし	17

■ 等級整備士訓練にはメーカー標準訓練 (OEM 訓練) 内容を含んでいます。

■ メーカー標準訓練 (OEM 訓練) は、エアバス・ヘリコプターズで定める実施科目を網羅した標準訓練となります。

## 操縦士訓練

### AS365 型式限定変更

型式限定変更のための訓練を実施します。操縦士実地試験実施細則に準じた項目、エアバス・ヘリコプターズのシラバスによる通常及び非常操作を含みます。シミュレーター訓練時間は飛行時間には算入できませんが、実機では困難な非常操作等をご要望に合わせて訓練可能です。

受講要件 : 有効な技能証明書と航空身体検査証明書

使用教材 : トレーニングマニュアル、飛行規程、AS365 FFS (マレーシア) / お客様実機

訓練場所 : [学科訓練] 神戸 [実技訓練] AHSC (マレーシア) / お客様基地

#### 訓練期間 メーカー標準訓練 (OEM 訓練)

機種名	コース	学科訓練時間	メーカー標準訓練		実地試験 対応訓練	合計	実地試験
			FFS	基本 実機訓練			
AS365N3 / AS365N3+	ITR ①	N3 58 時間 N3+ 62 時間 (学科試験 3 時間を含む)	9.5 時間	7 時間	8.5 時間	25 時間	2 時間
	ITR ②		なし	11.5 時間	13.5 時間	25 時間	2 時間
	ATR ①		6 時間	5.5 時間	8.5 時間	25 時間	2 時間
	ATR ②		なし	8.5 時間	11.5 時間	25 時間	2 時間

- 基本実機訓練には実技審査 1.5 時間が含まれます。
- 型式限定変更実地試験のご支援まで必要な場合は、メーカー標準訓練 (OEM 訓練) と実地試験対応訓練を受講してください。
- 実地試験対応訓練の設定は、事業用単発タービン保有、機長時間 500 時間以上の技能保有した操縦士を想定したものです。
- 訓練時間及び内容等については訓練生の経歴等により変動しますので、ご要望の際は事前の問い合わせをお願いいたします。
- 実機を使用する訓練は、お客様にご用意いただいた機体で実施します。
- 実機を使用する訓練時はお客様で付保する航空保険が適用されますので、保険内容等については事前に確認が必要となります。
- ITR (Initial Type Rating) 型式限定資格を保有していない操縦士向け訓練
- ATR (Additional Type Rating) いずれかの型式限定資格を保有している操縦士向け訓練



# 操縦士訓練

## AS365 型式限定変更 \*続き

### 訓練内容

#### 学科訓練

学科訓練シラバス例 (62時間 / 9日)	
1日目	オリエンテーション、機体概要、表示、機体構造、計器
2日目	メインローター、メインロータードライブシステム、テールローター、テールロータードライブシステム
3日目	フライトコントロール、油圧系統、サーボコントロール、ランディングギア
4日目	電気系統、燃料系統
5日目	パワープラント、ファイヤープロテクション、空調装置、付属装置、灯火類、AFCS
6日目	AFCS、無線航法機器
7日目	飛行規程
8日目	飛行規程
9日目	飛行規程、CAT-A 運航、理解テスト・解説

#### 実技訓練 (メーカー標準訓練)

実技訓練シラバス例		
	訓練内容	使用機材
実技訓練	AS365 通常手順、VFR 科目操作慣熟、TB 級運航	AS365 FFS 又はお客様実機
	基本計器飛行、AFCS・FCDS 慣熟、計器故障	
	TB 級運航、エンジン故障、火災	
	TB 運航 (OEI)、動力伝達系統故障、フライトコントロール故障	
	AFCS、エアワーク、非常操作、TB 級運航 (OEI)	
	AFCS、エアワーク、非常操作、TB 級運航 (OEI)	お客様実機
AFCS、GPS/情報処理装置等の使用、非常操作、CAT-A 運航 (OEI)		

#### 実地試験対応訓練

実地試験対応訓練シラバス例		
	訓練内容	使用機材
実地試験対応訓練	AFCS、GPS / 情報処理装置等の使用、非常操作、CAT-A 運航 (OEI)	お客様実機

- 訓練終了時には、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンより修了証が発行されます。
- 理解テストの結果や習熟度、実技訓練の天候の状況、基地から訓練場所への移動時間によっては、訓練時間・期間を延長する場合があります。
- 実地試験にはエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンの教官が立会います (但し、合格を保証するものではありません)。
- JCAB 実地試験は、特定操縦技能審査の代替となります。
- 実機を使用する訓練は、お客様にご用意いただいた機体で実施します。
- 実機を使用する訓練時はお客様で付保する航空保険が適用されますので、保険内容等については事前に確認が必要となります。
- 技能証明等取得に必要な申請料や登録免許税は別途かかります。



# 操縦士訓練

## AS365 メーカー標準訓練 (OEM 訓練)

エアバス・ヘリコプターズ社では全世界の訓練センターにおいて、どの訓練センターでも同じシラバス・同じタスクの訓練をご提供できる訓練プログラムが基本になっています。

受講要件 : 有効な技能証明書と航空身体検査証明書

使用教材 : トレーニングマニュアル、飛行規程、AS365 FFS (マレーシア) / お客様実機

訓練場所 : [学科訓練] 神戸 [実技訓練] AHSC (マレーシア) / お客様基地

### 訓練期間

機種名	コース	学科訓練時間	FFS	実技訓練	実技審査	実技訓練合計
AS365N3 / AS365N3+	ITR	N3 58 時間 N3+ 62 時間 (学科試験 3 時間を含む)	9.5 時間	5.5 時間	1.5 時間	16.5 時間
	ITR		なし	10 時間	1.5 時間	11.5 時間
	ATR		6 時間	4 時間	1.5 時間	11.5 時間
	ATR		なし	7 時間	1.5 時間	8.5 時間

### 訓練期間 (AS365 型式内移行訓練 (学科訓練))

訓練内容	AS365 <sup>*1</sup> →N3	AS365 <sup>*1</sup> →N3+	N3→N3+
1 航空機の概要、構造、XMSN、ローターと機器類、システムの概要	7 時間	7 時間	2 時間
2 限界事項	1 時間	1 時間	1 時間
3 性能、飛行準備と操縦	2 時間	2 時間	なし
4 重量重心、運航	1 時間	1 時間	なし
5 非常操作	1 時間	2 時間	2 時間
6 搭載機器 (EFIS、AFCS、VEMD)	5 時間	11 時間	6 時間
7 オプション機器	1 時間	1 時間	1 時間
学科実技審査	1 時間	1 時間	なし
総学科訓練時間 (実技審査含む)	19 時間	26 時間	12 時間

■ <sup>\*1</sup> AS365 は AS365N1, N2 を想定します。

### 訓練期間 (AS365 型式内移行訓練 (実技訓練))

機種名	FFS	実機訓練	実技訓練合計
AS365 <sup>*1</sup> → N3	3 時間	1.5 時間	4.5 時間
	なし	4.5 時間	4.5 時間
AS365 <sup>*1</sup> → N3+	3 時間	1.5 時間	4.5 時間
	なし	4.5 時間	4.5 時間
N3 → N3+	1.5 時間	1.5 時間	3 時間
	なし	3 時間	3 時間

■ <sup>\*1</sup> AS365 は AS365N1, N2 を想定します。



# 操縦士訓練

## AS365 計器飛行証明

ヘリコプターによる JCAB 計器飛行証明取得のための操縦士実地試験実施細則に準じた訓練を実施します。

受講要件：有効な技能証明書と航空身体検査証明書。

学科試験に合格し、有効期限内であること。50 時間以上の機長としての野外飛行

使用教材：訓練資料、神戸 H135 FFS、神戸 H135 アビオニクス・トレーナー (AVT)、  
お客様実機

訓練場所：[学科訓練、AVT 訓練、FFS 訓練] 神戸 [実技訓練] お客様基地

受験に必要な経歴

回転翼航空機による 10 時間以上の飛行  
を含む 50 時間以上の機長としての野外  
飛行時間

40 時間以上の計器飛行等の練習 (模擬飛行時間は 30 時間を限度とする)

### 訓練期間

訓練名	学科訓練	AVT 訓練	FFS 訓練	お客様実機訓練	実地試験
AS365 計器飛行証明 40 時間 基本計器飛行技能あり	70 時間	10 時間	10 時間	20 時間	3 時間 (1 日)
	20 日 (4 週)			(3 週)	
AS365 計器飛行証明 60 時間 基本計器飛行から訓練	70 時間	14 時間	16 時間	30 時間	3 時間 (1 日)
		25 日 (5 週)		(4 週)	

■ 受験には 40 時間以上の計器飛行等の練習時間が必要です。40 時間訓練の場合、10 時間の計器飛行等の練習時間 (事業用技能証明取得時の飛行経歴等) を保持していることが条件となります。60 時間訓練の場合は、本訓練のみで充足可能です。

■ シミュレーター及び実機訓練の時間は標準を示し、合計時間が下回らなければ標準時間の割合の変更も可能です。

### 訓練内容

学科訓練シラバス例 (70 時間 / 10 日)	
1 日目	オリエンテーション、IFR 手順 (出発前・基礎)
2 日目	IFR 手順 (ナビゲーション、アプローチ)
3 日目	IFR 手順 (アプローチ、緊急時)
4 日目	IFR 手順 (Crew coordination / Callout、科目実施要領)
5 日目	管制交話法
6 日目	飛行計画・実習
7 日目	IFR 実習 (地上点検 - 離陸・上昇 - エンルート/待機)
8 日目	IFR 実習 (非精密進入・精密進入)
9 日目	総合実習 (準備)、総合実習 1 (AVT を使用)
10 日目	総合実習 2 (AVT を使用)、口述試験準備

実技訓練シラバス例 (40 時間：AVT10 時間 + FFS10 時間 + 実機 20 時間の例)		
	訓練内容	使用機材
AVT 1-2 回目	基本計器飛行	AVT
AVT 3-4 回目	SID / STAR、Holding、VOR	
AVT 5-6 回目	SID、Holding、ILS	
AVT 7 回目	IFR ナビゲーション	
FFS 1-2 回目	SID / STAR、Holding、VOR	EC135 FFS
FFS 3-4 回目	SID、Holding、ILS	
FFS 5-6 回目	IFR ナビゲーション	
実機 1 回目	基本計器飛行	お客様実機
実機 2-3 回目	SID、Holding、VOR	
実機 4-5 回目	SID、Holding、ILS	
実機 6-7 回目	IFR ナビゲーション	
実機 8 回目	模擬試験 1	
実機 9 回目	模擬試験 2	

■ 訓練終了時には、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンより修了証が発行されます。

■ 理解テストの結果や実技訓練の天候、訓練場所への移動時間により訓練期間を延長する場合があります、その場合別途費用が発生します。

■ 実地試験にはエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンの教官が立会います (但し、合格を保証するものではありません)。

■ 実機訓練は、お客様にご用意いただいた機体で実施します。

■ 実機を使用する訓練時はお客様で付保する航空保険が適用されますので、保険内容等については事前に確認が必要となります。

■ 技能証明等取得に必要な申請料や登録免許税は別途かかります。



### 1. 計器飛行訓練での使用

計器飛行訓練においては、すでに世界的にシミュレーターでの訓練時間を実際の飛行時間の代わりに算入することが認められています。これらの時間は、計器飛行訓練だけでなく、自家用、事業用、定期運送用操縦士の資格取得時の飛行経験にも算入可能です。さらに計器飛行の最近の飛行経験の時間はすべてシミュレーターで実施可能です(JCABの認定を取得したシミュレーターに限ります)。

### 2. 飛行環境の選択

実機による訓練では、激しい悪気象下における効果的な反復練習の困難さ、アプローチ訓練中におけるトラフィック混雑による訓練時間のロス、フードを使った訓練では、機外の見張りが疎かになる不安さが生じますが、シミュレーターではこれらを気にすることなく、効率的に訓練を行うことができます。様々な悪気象状態の模擬により、安全を犠牲にせずに、現実起こり得る多種多様な状況に対応する技量、判断力の向上に役立っています。

### 3. 神戸 H135 シミュレーター訓練の利点

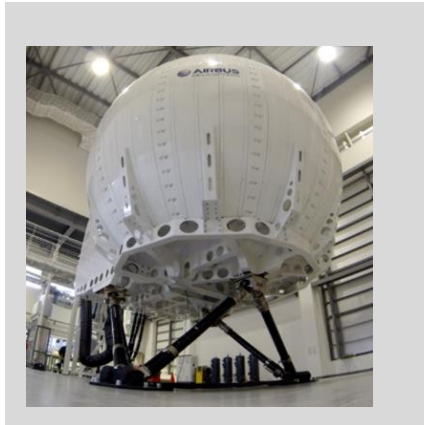
神戸 H135 シミュレーターを使用して、計器飛行証明取得の訓練をすることが可能です。エアバス・ヘリコプターズ機以外の運航者及び H135 の操縦経験がない操縦士にも効果的な訓練が可能となるように、トレーニングプログラムに配慮をしています。また、資格取得のためだけでなく、悪天候における計器飛行方式による実践的な技術が身につけられるよう、体系だったプログラムとシラバスを用いて効率良く質の高い訓練を提供致します。飛行機の計器飛行証明保持者が回転翼の計器飛行証明を取得する場合にも有効な手段となります。JCAB 認定を取得しておりますので、訓練時間を模擬飛行時間に算入可能です。

#### EC135 アビオニクス・トレーナー (AVT) による訓練

コックピット・アビオニクス操作手順慣熟トレーニング、計器飛行訓練にも対応

オートパイロット、グラスコックピット、GPS (GNS430：実物)、FMS (CMA3000/9000：タッチパネル) 等の近代的機材を装備しており、計器飛行、アビオニクス操作手順の慣熟に活用

- ・ 学科訓練で学んだ計器飛行に関する知識・操作手順の定着を図るのに効果的
  - ・ 空力、エンジンモデルは実機の模擬
  - ・ リアルなコックピット
- 実機サイクリックとコレクティブを使用  
タッチパネルによるアビオニクスの操作





## 操縦士訓練

### AS365 型式内移行 N1 / N2 → N3+、N3 → N3+

- AS365 同一型式内の別モデル移行の訓練をお客様のご要望に応じて実施します。  
(例) AS365 N1 / N2 から AS365 N3+への移行
- N2 から N3、N3+から N2 等、カタログに記載のない場合は、別途お問い合わせください。

受講要件 : 有効な技能証明書と航空身体検査証明書

使用教材 : トレーニングマニュアル、飛行規程、マレーシア AS365 FFS、お客様実機

訓練場所 : [学科訓練] 神戸 [FFS 訓練] AHSC (マレーシア) / お客様の基地

#### 訓練期間

訓練名	学科訓練	FFS 訓練	お客様実機訓練	期間
<b>AS365 型式内移行 (N1 / N2→N3+) ①</b> 学科+AS365 FFS+お客様実機	26 時間 (4 日)	3 時間 (2 日)	1.5 時間 (1 日)	8 日
<b>AS365 型式内移行 (N1 / N2→N3+) ②</b> 学科+お客様実機	26 時間 (4 日)	なし	4.5 時間 (3 日)	8 日

・上記訓練は、**AS365N1 / N2 から N3+ (FCDS、4 軸オートパイロット、FADEC TNG モード付)** に移行した場合の訓練となります。

訓練名	学科訓練	FFS 訓練	お客様実機訓練	期間
<b>AS365 型式内移行 (N3⇄N3+) ①</b> 学科+AS365 FFS+お客様実機	12 時間 (2 日)	1.5 時間 (1 日)	1.5 時間 (1 日)	4 日
<b>AS365 型式内移行 (N3⇄N3+) ②</b> 学科+お客様実機	12 時間 (2 日)	なし	3 時間 (2 日)	4 日

#### 訓練内容 学科訓練 (例 : N1 / N2 → N3+)

学科訓練シラバス例 (26 時間 / 4 日)	
1 日目	相違点概要、計器、表示装置、リミテーション
2 日目	性能、重量重心、非常操作
3 日目	機体・サブシステム、パワープラント、AFCS・MFD
4 日目	飛行規程、FADEC 故障手順、理解テスト・解説

#### 訓練内容 実機訓練 (例 : N1 / N2 → N3+)

実機訓練シラバス例 (4.5 時間 / 3 日)		
	訓練内容	使用機材
1 回目	機体・通常手順・VFR 操縦・AFCS への慣熟	マレーシア AS365 FFS 又はお客様実機
2 回目	CAT-A 運航 (OEI 含む)、FADEC 故障、AFCS 故障	
3 回目	VFR 総合 (FADEC 故障、AFCS 故障を含む)	お客様実機

- 訓練内容 (N3→N3+) については、お問い合わせください。
- 訓練終了時には、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンより修了証が発行されます。
- 理解テストの結果や習熟度、実技訓練の天候の状況、基地から訓練場所への移動時間により訓練時間・期間を延長する場合があります。
- 実機訓練は、お客様にご用意いただいた機体で実施します。
- 実機を使用する訓練時はお客様で付保する航空保険が適用されますので、保険内容等については事前に確認が必要となります。
- 神戸トレーニングセンター以外での訓練については、教官の海外費用は含まれますが、教官の国内旅費・宿泊費が別途かかります。



## 操縦士訓練

### AS365 非常操作

シミュレーターを活用することにより、実機では訓練が困難な危険な状況、及び様々な状況での非常操作の対応手順を反復練習することによって、機器の故障等の緊急事態に安全に対応できる能力を養う訓練を実施します。常時緊急時の対応能力を維持できるように定期的に非常操作の訓練を行うことを推奨します。

受講要件：有効な技能証明書と航空身体検査証明書

使用教材：訓練資料、飛行規程、AS365 FFS

訓練場所：AHSC（マレーシア）

#### 訓練期間

訓練名	FFS 訓練	期間	備考
AS365 非常操作 AS365 FFS	4 時間（2 時間/日）	2 日	海外訓練センター教官 + 日本語通訳にて対応

#### 訓練内容

実技訓練シラバス例（4 時間 / 2 日）		
	訓練内容	使用機材
1 回目	火災、テールローター故障、AFCS・FCDS 故障 (エンジンスタートから訓練を開始し、巡航又は離着陸を実施中に上記故障処置を訓練)	マレーシア AS365 FFS
2 回目	離陸・進入・ホバリング中の OEI、電気系統故障 (主に離着陸時の OEI 訓練を実施、原因別電気系統故障の兆候を確認)	マレーシア AS365 FFS

#### AS365 シミュレーターで可能な非常操作

故障の種類	故障例
エンジン系統故障	FADEC 故障、エンジン故障、ホットスタート、ガバナー故障、エンジンチップ
ギアボックス故障	メインギアボックス・ポンプ故障、メインギアボックス冷却系統故障、NR 指示故障
火災	エンジン火災、火災警報装置故障、消火器故障
燃料系統故障	燃料フィルター閉塞、燃料ポンプ故障、燃料油量計故障
電気系統故障	バッテリー温度、バスタイ故障、ジェネレーター・オーバーヒート、インバーター故障
油圧系統故障	油圧低下
操縦系統故障	トリム故障、メインサーボコントロール・ディストリビューター故障
FCDS / AFCS 故障	APM 故障、P / R SAS、APMS 故障、SEMA 故障
センサー・計器故障	HSI 故障、GYRO 故障、PITOT 系統故障、ADC 故障、ADI 故障
ナビゲーション故障	GPS 故障、ILS 故障、VOR 故障、DME 故障、LOC 故障、GS 故障
ローター故障	テールロータードライブ故障、テールローターコントロール故障
オートローテーション着陸	両エンジン故障
ランディングギア故障	ランディングギア作動不良
その他の不具合	警報灯故障、ドア・ライト ON、ステップ・ライト ON
悪天候時の対応	低視程下での運航

■170 種類の故障を模擬することができます。お客様のご要望により、非常操作を選択することが可能です。（同時に複数選択も可能）



# 操縦士訓練

## 特定操縦技能審査（操縦士）

特定操縦技能審査を神戸 H135 フル・フライト・シミュレーター（FFS）又はお客様実機で実施します。  
H135 FFS は多発タービン機等級限定を有する操縦士が対象となります。

審査要件： 技能証明書（使用航空機の操縦に有効なもの） / 規則第 20 号様式 12.技能証明書 - 特定操縦技能審査/確認、  
航空身体検査証明書（条件指定がある場合は常用眼鏡・予備眼鏡等を持参、シミュレーターの場合は不要）、乗務員飛行  
日誌、航空安全講習会受講証明書（2年以内の受講により口述審査の一部免除可）

使用機材： 神戸 H135 FFS / お客様実機

訓練場所： 神戸 / お客様基地

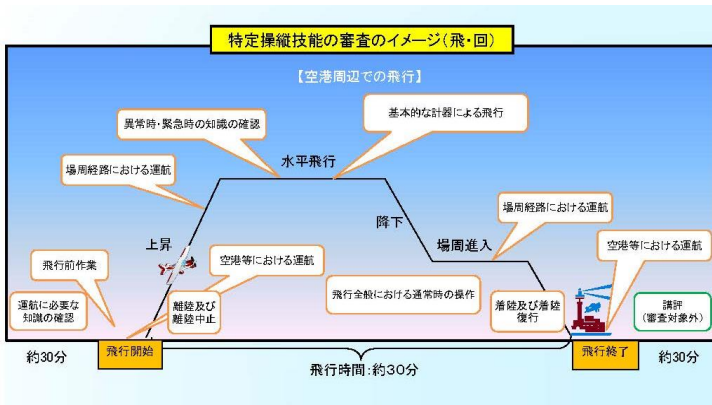
### 審査概要

審査名	使用機材	審査内容	期間
特定操縦技能審査 ① H135 FFS	神戸 EC135 FFS	口述審査・実技審査・講評	0.5 日
特定操縦技能審査 ② お客様実機	お客様実機	口述審査・実技審査・講評	0.5 日

### 審査内容

特定操縦技能審査の流れ	
	内 容
1	審査員が被審査者に「操縦技能審査員の証」及び「技能証明書」を提示
2	審査の方法の提示（全体の流れ、注意事項の伝達）
3	書類の確認（技能証明書、航空身体検査証明書、無線従事者免許証）
4	口述審査（約 30 分）
5	機体プリフライトチェック
6	実技審査（約 30 分）
7	機体ポストフライトチェック
8	審査終了後のブリーフィング
9	講評（約 30 分）
10	講評後の手続き（審査を受けた者の技能証明書に定められた事項を記載）
11	審査終了後の事務処理（上記技能証明書の写しを国土交通大臣に提出）

- 口述試験は、航空局が発行する特定操縦技能審査実施細則に定めるとおり、「特定操縦技能審査口述ガイダンス」に従って質問します。
- 審査内容・手続き詳細については、事前に国土交通省ホームページでご確認ください。 [http://www.mlit.go.jp/koku/15\\_bf\\_000744.html](http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000744.html)
- 審査不合格の場合は、訓練計画と再審査の予定について、ご相談に応じます。
- 上記以外の機種による審査はお問い合わせください。
- 他の訓練と同時に審査をご希望の場合は、お問い合わせください。





## 整備士訓練

### AS365 一等航空整備士（新規）

一等航空整備士の新規資格取得に必要な JCAB 実施試験細則の内容とメーカー標準訓練（OEM 訓練）の内容を網羅する訓練を実施し、口頭試問やロケーション対策に加え、地上試運転訓練を実施して、実地試験受験までサポートします。本訓練では、エアバス・ヘリコプターズの最新の技術情報も紹介します。

受講要件：二等航空整備士（回）タービン機等級限定以上で一等航空整備士学科試験に合格し、有効期間内であること

使用教材：トレーニングマニュアル、飛行規程、モックアップ等、お客様実機

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸 / お客様基地（実機を使用する訓練、試験実施時）

#### 訓練期間

訓練名	学科訓練	実技訓練	地上試運転訓練	実地試験	期間
<b>AS365 一等航空整備士実地試験（新規）</b>					
学科訓練	105 時間	133 時間	5 日	1 - 2 日	約 8 週
実技訓練（OEM 実技訓練 + 口頭試問 + ロケーション対策を含む）	（15 日）	（19 日）			
実機による試運転					

#### 訓練内容

学科訓練シラバス例（105 時間 / 15 日）	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、表示と記録、機体構造
2 日目	メインローター、メインロータードライブシステム、テールローター、テールロータードライブシステム
3 日目	フライトコントロール
4 日目	油圧系統
5 日目	サーボコントロールシステム、暖房と通気、その他装備品、理解テスト・解説（1 回目）
6 日目	ランディングギア
7 日目	燃料系統
8 日目	電気系統
9 日目	パワープラント
10 日目	防火系統、照明系統、計器系統、理解テスト・解説（2 回目）
11 日目	AFCS 系統
12 日目	AFCS 系統
13 日目	アビオニクス
14 日目	アビオニクス
15 日目	飛行規程、理解テスト・解説（最終）

実技訓練シラバス例（133 時間 / 19 日）	
<b>OEM 実技訓練</b>	
1 日目	メインギアボックス・オイルフィルター点検並びに各種シール交換
2 日目	Nr センサー取付・取外、メインローターヘッド取付・取外
3 日目	テールローターハブ取付・取外、テールローターブレード取付・取外
4 日目	4 軸オートパイロット ファンクションテスト、MFD 255 ファンクションテスト
<b>口頭試問 + ロケーション対策</b>	
5 日目	進捗確認
6 日目	進捗確認
7 日目	進捗確認
8 日目	進捗確認
9 日目	進捗確認
10 日目	実地試験申請前審査（口述対策）
11 日目	実地試験申請前審査（口述対策）
12 日目	実地試験申請前審査（口述対策）
13 日目	実地試験申請前審査（口述対策）
14 日目	実地試験申請前審査（口述対策）
15 日目	ロケーション（機体・エンジン、お客様実機使用）
16 日目	ロケーション（機体・エンジン、お客様実機使用）
17 日目	ロケーション（機体・エンジン、お客様実機使用）
18 日目	ロケーション（機体・エンジン、お客様実機使用）
19 日目	ロケーション（機体・エンジン、お客様実機使用）

# 整備士訓練

\* 続き

地上試運転訓練シラバス例 (35時間 / 5日)

## 1-5日目

地上試運転及び受験準備

- 機体都合、天候等により、変動することがあります。
- 訓練終了時には、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンより修了証が発行されます。
- 実地試験にはエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンの教官が立会います（但し、合格を保証するものではありません）。
- 理解テストの結果によっては、期間を延長（訓練期間は習熟度に応じて数回に分割して実施）する場合があります。
- 技能証明等取得に必要な申請料や登録免許税は別途必要となります。
- 地上試運転は、お客様にご用意いただいた機体で訓練を実施します。
- 各訓練は基本装備品についての訓練となります。



## 整備士訓練

### AS365 一等航空整備士（型式限定変更）

一等航空整備士保有者の AS365 型式限定変更に必要な JCAB 実施試験細則の内容とメーカー標準訓練（OEM 訓練）の内容を網羅する訓練を実施し、口頭試問やロケーション対策に加え、地上試運転訓練を実施して、実地試験受験までサポートします。

本訓練では、エアバス・ヘリコプターズの最新の技術情報も紹介します。

受講要件：一等航空整備士（回）技能証明

使用教材：トレーニングマニュアル、飛行規程、モックアップ等、お客様実機

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸 / お客様基地（実機を使用する訓練、試験実施時）

#### 訓練期間

訓練名	学科訓練	実技訓練	地上試運転訓練	実地試験	期間
<b>AS365 一等航空整備士（型式限定変更）</b>					
学科訓練	70 時間	98 時間	5 日	1 日	約 7 週
実技訓練（OEM 実技訓練+口頭試問+ロケーション対策を含む）	(10 日)	(14 日)			
実機による試運転					

#### 訓練内容

学科訓練シラバス例（70 時間 / 10 日）	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、表示と記録、機体構造
2 日目	メインローター、メインロータードライブシステム、テールローター、テールロータードライブシステム
3 日目	フライトコントロール、油圧系統
4 日目	サーボコントロールシステム、ランディングギア
5 日目	燃料系統、暖房と通気、その他装備品、理解テスト・解説
6 日目	電気系統、パワープラント
7 日目	防火系統、照明系統、計器系統
8 日目	AFCS 系統
9 日目	アピオニクス
10 日目	飛行規程、理解テスト・解説

実技訓練シラバス例（98 時間 / 14 日）	
<b>OEM 実技訓練</b>	
1 日目	メインギアボックス・オイルフィルター点検並びに各種シール交換
2 日目	Nr センサー取付・取外、メインローターヘッド取付・取外
3 日目	テールローターハブ取付・取外、テールローターブレード取付・取外
4 日目	4 軸オートパイロット ファンクションテスト、MFD 255 ファンクションテスト
口頭試問+ロケーション対策	
5-9 日目	実地試験申請前審査（口述対策）
10-14 日目	ロケーション（機体・エンジン、お客様実機使用）

地上試運転訓練シラバス例（35 時間 / 5 日）	
1-5 日目	地上試運転及び受験準備

- 機体都合、天候等により、変動することがあります。
- 訓練終了時には、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンより修了証が発行されます。
- 実地試験にはエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンの教官が立会います（但し、合格を保証するものではありません）。
- 理解テストの結果や習熟度によっては、期間を延長する場合があります。
- 地上試運転は、お客様にご用意いただいた機体で訓練を実施します。
- 神戸トレーニングセンター又はお客様の基地で訓練を実施します。
- 各訓練は基本装備品についての訓練となります。
- 訓練にはエンジン講習は含まれておりません。





## 整備士訓練

### AS365 メーカー標準訓練（OEM 訓練）

エアバス・ヘリコプターズ社では全世界の訓練センターにおいて、どの訓練センターでも同じシラバス・同じタスクの訓練を設定しました。学科訓練に加えモックアップ等を使用した実技訓練を組み込むことにより、より深度の深い訓練を提供します。実技訓練は、マニュアル内のメンテナンスタスクからピックアップしており、現場での作業を視野に入れたものとなっています。

受講要件：回転翼航空機ライセンス又は同等の知識（6ヶ月以上の整備経験を推奨）を有する

使用教材：トレーニングマニュアル、飛行規程、モックアップ等

訓練場所：[学科訓練] 神戸 [実技訓練] 神戸

#### 訓練期間

訓練名	学科訓練	実技訓練	地上試運転訓練	実地試験	期間
<b>AS365</b> 一等航空整備士（型式限定変更） 学科訓練 実技訓練（OEM 訓練）	70 時間 (10 日)	28 時間 (4 日)	なし	なし	約 3 週

#### 訓練内容

学科訓練シラバス例（70 時間 / 10 日）	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、表示と記録、機体構造
2 日目	メインローター、メインロータードライブシステム、テールローター、テールロータードライブシステム
3 日目	フライトコントロール、油圧系統
4 日目	サーボコントロールシステム、ランディングギア
5 日目	燃料系統、暖房と通気、その他装備品、理解テスト・解説
6 日目	電気系統、パワープラント
7 日目	防火系統、照明系統、計器系統
8 日目	AFCS 系統
9 日目	アビオニクス
10 日目	飛行規程、理解テスト・解説

OEM 実技訓練シラバス例（28 時間 / 4 日）
メインギアボックス・オイルフィルター点検並びに各種シール交換、Nr センサー取付・取外
メインローターヘッド取付・取外
テールローターハブ取付・取外
テールローターブレード取付・取外
4 軸オートパイロット ファンクションテスト
MFD 255 ファンクションテスト



## 整備士訓練

### AS365 型式内移行 N2 / N3→N3+

AS365 同一型式内の別モデル移行の訓練をお客様のご要望に応じて実施します。

N3/N3+から N2 等、本書に記載のない場合は、別途お問い合わせください。

受講要件 : 一等航空整備士 (回) AS365 型式限定及び整備経験

使用教材 : トレーニングマニュアル

訓練場所 : [学科訓練] 神戸

#### 訓練期間

訓練名	学科訓練	実技訓練	地上試運転訓練	実地試験	期間
<b>AS365 型式内移行 (N2 → N3+)</b> 学科のみ	35 時間 (5 日)	なし	なし	なし	5 日
<b>AS365 型式内移行 (N3 → N3+)</b> 学科のみ	21 時間 (3 日)	なし	なし	なし	3 日

#### 訓練内容

N2→N3+ 学科訓練シラバス例 (35 時間 / 5 日)	
1 - 3 日目	AS365N2 → N3+ 差異部分
4 日目	APM2010
5 日目	MFD

N3→N3+ 学科訓練シラバス例 (21 時間 / 3 日)	
1 日目	AS365N3 → N3+ 差異部分
2 日目	APM2010
3 日目	MFD

- 訓練終了時には、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンより修了証が発行されます。
- 試験の結果や習熟度によっては、期間を延長する場合があります。
- 各訓練は基本装備品についての訓練となります。

### AS365 オートパイロット学科

オートパイロットに特化して深く掘り下げた内容をお客様のご要望に応じて訓練を行います。エアバス・ヘリコプターズの最新の技術情報も紹介します。

受講要件 : 二等航空整備士 (回) タービン機等級限定以上

使用教材 : 訓練資料

訓練場所 : [学科訓練] 神戸

#### 訓練期間

訓練名	学科訓練	実技訓練	期間
<b>AS365N3</b> オートパイロット	21 時間 (3 日)	なし	3 日
<b>AS365N3+</b> オートパイロット	21 時間 (3 日)	なし	3 日

#### 訓練内容例

学科訓練シラバス例 (21 時間 / 3 日)	
1 日目	オリエンテーション、AFCS 概要
2 日目	N3 : AFCS 155D / N3+ : AFCS APM2010
3 日目	AFCS 表示・操作

- 訓練終了時には、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンより修了証が発行されます。
- 各訓練は基本装備品についての訓練となります。



# 整備士訓練

## AS365 リフレッシュ

AS365 の有資格者を対象としたリフレッシュ訓練で、型式限定変更で習得した内容を復習します。本訓練では最近装備されているシステム、最近の SB・SL 等の技術情報も紹介します。

受講要件 : 受講型式の型式限定保持者

使用教材 : 訓練資料

訓練場所 : [学科訓練] 神戸

### コース期間

訓練名	学科訓練	実技訓練	期間
AS365 リフレッシュ 学科のみ	35 時間 (5 日)	なし	5 日

### コース内容

学科訓練シラバス例 (35 時間 / 5 日)	
1 日目	オリエンテーション、機体概要、表示と記録、機体構造
	メインローター、メインロータードライブシステム、テールローター、テールロータードライブシステム
2 日目	フライトコントロール、油圧系統
	サーボコントロールシステム、ランディングギア
3 日目	燃料系統、暖房と通気、その他装備品、理解テスト・解説
	電気系統、パワープラント
4 日目	防火系統、照明系統、計器系統
	AFCS
5 日目	アビオニクス
	飛行規程、最近の SB・SL 等

- 訓練終了時には、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンより修了証が発行されます。
- 各訓練は基本装備品についての訓練となります。
- 訓練にはエンジン講習は含まれておりません。





エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社  
〒106-6119 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー19階  
カスタマーサポート部  
<http://www.airbushelicopters.co.jp>

トレーニングセンター  
〒650-0048 兵庫県神戸市中央区神戸空港 8-8  
神戸空港事業所内

# AIRBUS

© Airbus Helicopters Japan

Roppongi Hills Mori Tower, 19F  
6-10-1 Roppongi, Minato-ku  
Tokyo 106-6119  
Japan

AS365 Pilot & Technician  
Training Catalog  
Ver 2.0 (2022.11)